

**首** 都アンカラからは、さらに「東へドゥウ」を日進せ、ヨーロッパ最北端まで進べると、列車のみで行くことが出来る。最高速がカルス駅というところからかかった、アンカラ・カルス間は1300km。毎日1往復の急行列車が設定されている。

1本はアンカラ駅を15分弱分に発車する、トゥーリスティック・ドゥウ・エクスプレスで、途中観光のために停車しながら、カルス駅には翌朝日の出直前到着がある。もう1本は、アンカラ駅を2時間遅れて15分弱分に発車する「ドゥウ・エクスプレス」。カルス駅には翌朝日の出直前の到着で、つまり、「トゥーリスティック・ドゥウ・エクスプレス」は途中で「ドゥウ・エクスプレス」に変わるのである。

時刻表では、どこで寝られるのか分からないが、実際に乗れば、できれば、両方乗りたいがどうもいかないので、往路は「トゥーリスティック・ドゥウ・エクスプレス」に、そして復路は、「ドゥウ・エクスプレス」に乗ることにした。

ちなみに乗客だが、「トゥーリスティック・ドゥウ・エクスプレス」は窓側2列の個室車両を2本で発車した場合1枚の1000トルコリラだが、シングルユースすると600トルコリラとなる。しかも、ユーレイルパスの割引の特典もない。スペシャルな列車なのだから、一方、「ドゥウ・エクスプレス」の寝台は、4名1室のコンパートメントで、わずかに100トルコリラ。ユーレイルパス提示では発車料金を100トルコリラのみだった。トルコを旅していると物価の安さに感心するが、とりわけ観光客費など公共交通がリーズナブルなことに感動する。アンカラ・カルス間1365kmは、東京から熊本のあるに先の八代も水信長に相当する。その長距離が寝台車両で約1500円でいけるのだから、



安カラ口橋を越え、アト17高層の車窓風景

## ドゥウ・エクスプレスで運るトルコ東方の絶景



東京や名古屋でも  
列車も楽しめるよ

は光手帳  
Channel

©2017 JR EAST LIMITED  
All Rights Reserved.  
JTB, JR EAST, JR TOYO